

# 私たちの広場

【特集】参議院選挙

【連載】イギリスのシティズンシップ教育 第2回

【連載】行列のできる講座のつくり方 第2回



No.295

2007年7月12日発行

財団法人 明るい選挙推進協会

**巻頭言** 憲法改正問題に関わる国会議員を選ぶ初めての選挙 ..... 3  
 (財) 明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅

**特集** 参議院選挙 ..... 4

- ・ 参議院の役割と第21回参議院選挙の意義 ..... 4  
 関西学院大学教授 森脇 俊雅
- ・ 政局の動向と参議院選挙 ..... 6  
 政治評論家 中島 勝
- ・ 投票しなければ何も変わらない、変えるのは私たち ..... 8  
 タレント 島崎 和歌子

明るい参議院議員選挙推進全国大会報告 ..... 10

- 講演 日本政治の課題と参議院 ..... 11  
 慶應義塾大学教授 小林 良彰
- 意見発表 ..... 13
- ・ 福井県明るい選挙推進協議会会長 中村 保之 ..... 13
- ・ 広島市明るい選挙ユースボランティア「チームGO」 ..... 14
- ・ (社) 日本青年会議所「日本の力」実践グループ ..... 15

啓発事業 ..... 16

メイスイ列島フラッシュ ..... 19

イギリスのシティズンシップ教育 第2回 ..... 20  
 西武文理大学教授 新井 浅浩

行列のできる講座のつくり方 第2回 「ターゲットの心に響くタイトルを」 ..... 22  
 NPO法人男女共同参画おた理事 牟田 静香

絵本 リンカーン 第2回 「議員活動」 ..... 24

協会からのお知らせ ..... 27

座っている二人の人物を下から見上げた構図で描くことにより、頭上の空間に夢や明るい未来をイメージさせてくれます。そこに擬人化された投票用紙が楽しそうに空を舞っている様子を描くことにより、私たちが選挙に夢や未来を託していることが伝わってきます。

(雑誌「選挙」平成18年12月号から転載)

村上 尚徳  
 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

表紙の紹介

吉田 知加さん  
 福島県郡山女子大学附属高等学校2年(受賞当時)



# 憲法改正問題に関わる 国会議員を選ぶ初めての選挙

(財) 明るい選挙推進協会会長

佐々木 毅



七月の参議院選挙は日本の民主政治にとって大変に重要な選挙です。やや誇大な言い方になるかもしれませんが、日本の将来を占う選挙と言っても過言ではありません。

まず、今回の選挙は何よりも名誉挽回のための選挙であります。いわゆる亥年の参議院選挙は投票率が低く、十二年前の参院選挙では投票率が遂に五〇パーセント割れを起こしました。これは国政選挙の意味そのものを疑わせる深刻な事態でした。投票率が低くても選挙は制度上有効に成立し、当選者も決定するわけですが、問題はその「代表性」です。投票率が五割を割り、その中で過半数しか得票しないということであれば、有権者の四分の一程度しか代表していないことになるからです。

その上、参議院選挙では一票の格差がはなはだしく、衆議院以上にその「代表性」が問われるざるをえない状況にあります。こうした事情に投票率の低さが加われれば、事態はますます深刻になります。こうしたことを念頭に置く限り、参議院の将来はひとえに選挙での投票率のアップに頼らなければなりません。したがって、投票率が前回の亥年選挙のような不名誉なことにならないよう、各政党、各候補者はもちろんのこと、選挙に関わるわれわれとしても、旧来に

も増して精力的に今度の選挙に取り組む必要があります。

その一方で、従来の参議院選挙以上に、国民の関心と呼ぶ課題があることも重要な点です。何よりも、安倍政権にとって今度の選挙は初めての大規模な国政選挙であり、その結果は政権の将来に大きな影響を持つと考えられます。また、年金問題など多くの関心を集めている政策課題は別に置くとしても、次の二つの点はどうしても指摘せざるをえません。

第一に、参議院の存在意義がますます問われるようになった点をあげなければなりません。それというのも、一昨年の郵政解散は参議院での法案の否決を受けて衆議院が解散されるといふ、日本の二院制の基本に関わる問題を提起したからです。参議院の権限は憲法上強力ですが、もし、あのような形で事実上の一院制的な政治運営がなされるならば、この権限は空洞化してしまいます。この出来事は従来「良識の府」といった言葉で自らを位置付けてきた参議院と参議院議員にとってまさしくその存立の基盤に関わるものでした。

その意味で言えば、参議院選挙の候補者たちは何よりもこの点について有権者にはっきりとしたメッセージを伝え、信頼感を取り付けるよ

う、従来にない活発な選挙活動をする責

務があります。衆議院で三分の二を占める巨大勢力が敵然としてあるという現実の中で、参議院にどのような意味があるのかという国民の問いに答えることは避けて通れない課題です。その意味でも投票率は国民の参議院に対する評価を計るバロメーターです。

第二に、憲法改正問題が政治の課題として浮上りつつあるという新しい現実があります。国会で成立した国民投票法は、数年後に憲法改正のための発議を国会が行うことができるようになることを定めています。したがって、任期六年の参議院議員を選出する今回の選挙は、憲法改正問題に関わることになる国会議員を最初に選出する選挙になります。当然、各党は憲法改正問題を取り上げ、活発な選挙活動を行うことになり、これが投票率などを下支えする新しい要素になることが期待されます。

併せて、公選法の改正、特に、一八歳への選挙権の引下げといった重要な事柄が国民投票法とワンセットになってわれわれの課題として目の前に登場しております。若者の選挙への関心を高める活動に、従来にも増して新しい気持ちで取り組みたいと思います。

## 参議院の役割と 第二十一回参議院選挙の意義



関西学院大学教授 森脇 俊雅

### プロフィール もりわき としまさ

関西学院大学法学部教授、法学博士。昭和20年生まれ。関西学院大学法学部卒業、同大学法学部助手、助教を経て昭和63年4月教授、現在に至る。専攻は、現代政治理論、選挙制度、地域政治。日本公共政策学会会長、兵庫県明るい選挙推進協議会会長。主な著書に『現代政治学 展開と課題』（芦書房、平成18年）『アメリカ女性議員の誕生』（ミネルヴァ書房、平成13年）等がある。

### 安倍政権、初の全国規模の国政選挙

七月に予定されている第二十一回参議院選挙は平成一九年政治決戦ともいわれ、日本政治の今後に重大な影響を及ぼす選挙として注目されている。なによりも昨年九月末に成立した安倍政権が迎えた最初の全国規模の国政選挙であり、その評価が問われるからであ

る。内閣支持率を見ると、成立当初は小泉内閣、細川内閣に次ぐ高い支持率を誇ったものの、その後低下している。五月に入ってから、年金不安や「政治とカネ」をめぐる問題で支持率は厳しさを増している。発足後一〇カ月を経て、国民が安倍政権をどう評価しているかを決定づける意味をこの参議院選挙は持っているのである。

安倍政権は、小泉政権を引き継いで行財政改革を推進するとともに、中国や韓国との関係改善に努めてきているが、安倍首相自身は教育改革や憲法改正にも強い意欲を示している。教育改革や憲法改正のためには幅広い国民の理解と支持が必要であり、そのためにも今回の参議院選挙では負けられないところである。

他方、野党にとつては一七年九月の衆議院総選挙で敗北して以来の挽回の機会であり、とりわけ民主党は次の総選挙での失地回復と政権奪取のためにも負けられない選挙であ

る。一七年総選挙での敗北後、前原代表が就任したものの短期間で辞任し、小沢代表が就任して参議院選挙に向けて戦略を練り、対策を立ててきている。小沢代表のもとでの民主党の真価が問われる選挙でもある。

### 強い第二院 参議院

参議院選挙は、これまでもしばしば政治の流れを決定づける役割を果たしてきた。平成元年の第一五回参議院選挙では自民党が大敗し、野党が大きく議席を伸ばした。敗北の責任をとって当時の宇野首相は辞任した。また、一〇年の第一八回参議院選挙ではやはり当時の橋本内閣が敗北の責任を負って総辞職している。このときの敗北により自民党は参議院での過半数を失い、その結果、公明党などとの連立に踏み切ることになった。一三年第一九回参議院選挙では就任間もない小泉首相のもとで自民党は勝利するが、続く一六年第二〇回参議院選挙では議席数において民主党に及ばない結果となった。このため、今回参議院選挙で前回並みでは連立与党でも過半数が厳しい状況となり、政権運営に赤信号が灯るといふことになりかねない。

参議院選挙の結果がこれほど重大な影響を持つのは、日本の参議院が「強い第二院」だからである。世界各国で二院制をとる国は多いが、その権限や構成は国によって様々である。議会政治の母国イギリスでは貴族院（上

院)はその名の通り世襲貴族の代表からなり、選挙によつて選ばれた庶民院(下院)とは明確にその性格を異にしている。連邦制を採用しているドイツ、カナダの上院は直接選挙によらない州代表の機関である。アメリカの上院は州代表の性格を有し、各州より二名と固定されている。日本の参議院は選挙によつて選ばれるとともに強い権限を持つ第二院なのである。すなわち、参議院の同意がないと法律は成立しない。もちろん憲法には衆議院の優越が規定され、法律案に関しては衆議院で可決し参議院で否決されても、再び衆議院で三分の二以上の多数で可決すれば成立するとされているが、実際には三分の二の多数は難しく、参議院での否決は事実上の廃案を意味する。

## すすむ参議院の政党化

「強い第二院」ではあるが、参議院の存在意義や役割についてはこれまで種々議論されてきている。参議院はそもそも戦前の貴族院が廃止になったあと設立された。戦前の貴族院は華族互選議員や多額納税議員などからなり、国民の直接選挙で選ばれる衆議院とは明らかにその構成を異にしていた。貴族院廃止のあとを受けて設立された参議院は当初「良識の府」と呼ばれ、衆議院の行き過ぎをチェックする役割を担い、衆議院の与野党からは一線を画するために政党化は望ましくないとされていた。そのため、緑風会など拘束のゆ

るやかな会派が多数を占めるといふ状況が続いた。しかし、「強い第二院」であることから、政権側としては参議院の与党化を目指し、勢力拡大に努めた。その結果、次第に参議院でも政党化が進み、ことに昭和五七年に全国区にかえて比例代表選挙制が導入されてからは、いつそう政党化が顕著になった。参議院の政党化の進行は、参議院の独自性が役割に対する問題意識も生み出すようになった。衆議院に追従し、同じ結論を出すならばその存在意義は何なのか。独自の役割は何なのであろうか。

## 問題の多い参議院の選挙制度

参議院の選挙制度も独自性を希薄なものにしている。二四二の定数のうち、選挙区から一四六、比例区から九六議席を選ぶが、制度としては衆議院の選挙制度と類似している。ことに選挙区の中の二九の一人区では、有権者は「小選挙区比例代表並立制」のもとで選挙していることにはかならない。

さらに定数不均衡問題も深刻である。平成一三年七月参議院選挙において議員一人当たり人口が最大の東京都選挙区と最小の鳥取県選挙区の間で格差が五・〇六倍に達していたことについて違憲訴訟が提起されていたが、一六年一月、最高裁は九対六の多数で合憲とし、原告の訴えを却下した。しかし、多数意見のうちの四人が「現状のままなら違憲の余

地がある」と早急な対応を求めた。事実上、一五人中一〇人の裁判官が違憲性を認識していたことになり、波紋をよんだ。参議院は協議を行い、結局、一増二減案をまとめたが、抜本的改革には至っていない。抜本的改革のためには参議院選挙制度の根本を検討する必要がある、それは参議院のあり方や性格にかわっている。

## 望まれる投票への参加

今年の参議院選挙は統一地方選挙と重なる亥年現象に当たり、選挙の終わった地方議員の動きが鈍くなって自民党に不利であるとか、市町村合併の進行に伴い地方議員の数が減少していることが選挙にどのように作用するのか、など論議されている。激戦といわれ選挙結果は予断を許さないが、勝敗のみならず参議院のあり方や改革も重要な課題であり、論戦でぜひ取り上げてもらいたいところである。

このような意義を持つ重要な選挙であるので、高い関心と選挙戦の盛り上がりが見られるが、このところ参議院選挙の投票率は六〇%台を割り込んでいる。亥年現象により今回は投票率がさらに低下する可能性もある。ますます選挙の重要性は高まってきており、選挙結果が日本の政治の今後に与える影響も大きい。少しでも多くの有権者が選挙に関心をもち、投票に参加することを期待したい。

# 政局の動向と参議院選挙



## プロフィール なかじま まさる

昭和15年生まれ。40年NHK入局、千葉放送局記者、46年報道局政治部記者、以後一貫して政治取材に当たる。官邸、自民党、野党、外務省などを担当。政治部長、解説委員長を歴任して、平成12年退職。以後、NHK部外解説委員、国会議員年金調査会委員などを務める。現在、政治評論家。著書に『国会入門』（共著）（信山社、平成15年）。

政治評論家（元NHK解説委員長）

中島勝

### 実は大事な参議院選挙

ところが、実際の参議院選挙はしばしば重大な結果を伴います。例えば平成一〇年の参議院選挙、自民党が一六議席減らして橋本総理大臣が開票途中で辞意を表明しました。小淵内閣が成立して不況下での財政再建路線から景気刺激策へと政策が変更されました。平成元年の参議院選挙、リクルート事件や消費税導入の影響で自民党は三〇議席減らして過半数を大きく割り込み、宇野総理大臣が退陣しました。ときには参議院選挙は内閣をつぶすような威力を発揮します。

はつめに  
三年ごとに定数の半分が改選される参議院選挙は、その時点での内閣に対する有権者の総合評価が示される点に意義があると思います。衆議院の総選挙はどの政治勢力が権力を握って誰を総理大臣にするかに直結していませんが、これと比べて大きく異なる点です。ですから参議院選挙への関心は衆議院選挙よりも低くながちです。国政選挙でこれまで最低の投票率四四％台を記録したのも平成七年の参議院選挙でした。

た。法律案は衆参両院で可決されないと成立しませんから、こうした連立政党の組み合わせは不安定です。結局、同じ年に公明党が連立に加わって自・自・公の三党連立が成立して、衆参両院で多数を占める連立政権となりました。

このように参議院選挙の結果は、総理大臣を退陣させたり、参議院の勢力分野が連立の政党の組み合わせを決めたりします。内閣に対する単なる総合評価にとどまらないのが参議院選挙です。

### 過半数をめぐる争い

今回の参議院選挙では与党が過半数の議席を確保できるかどうかに関心が集まっています。参議院の定数は二四二ですから過半数は一二一、与党の自民・公明両党で六四人当選すれば非改選の議席と合わせて過半数に達します。公明党の手堅い選挙戦術から見て今回も六年前と同じ一三人の当選を見込むと、自民党が五人当選すると過半数です。選挙の勝ち負けは通常は改選議席の増減で判断しますから、与党の場合、改選議席七六が勝敗ラインになるのですが、そんな数字よりも与党の過半数に心が集中しています。それというのも、与党が過半数を確保するかしないかで、政治状況はがらりと変わるからです。

平成十一年小淵内閣の下でスタートした自民党と当時の自由党の自・自連立がそうでした。

安倍内閣は昨年九月の発足以来、郵政造反グループの自民党への復党や柳沢厚生労働大臣の発言問題などで内閣支持率の低下が続い

ていました。さらに五月末になって松岡農水大臣の自殺と年金記録問題の急浮上によって猛烈な逆風が安倍内閣を襲っています。政権発足以来、最大の危機に直面しているといつてよいでしょう。それだけに参議院選挙で過半数を確保できれば、安倍内閣はひとまず危機を脱することになります。

過半数を取れないと安倍内閣はますます苦しい立場に立たされます。与党が大敗すると安倍退陣といった事態もありうるでしょう。そこまでいかなくとも、与野党で対決する法案は参議院で否決されますから、成立が難しくなります。

衆議院では与党は全体の三分の二を超える多数を占めていますから、憲法の規定で三分の二の多数で再議決して成立を図ることは理屈の上では可能です。しかし、この手続きで法案を成立させるのは手間暇がかかりそうなので、度々使える手ではなさそうです。さらに参議院議長を野党側が取ると、参議院運営の主導権を野党側が握ることになって、政府・与党側はいっそう厳しい立場に立たされます。

与党の対応策はいくつか考えられます。政界再編によって衆参両院で多数派となる政治勢力の結集を目指すことも選択肢の一つです。そうなれば政界激震という事態になりますが、衆議院で小選挙区制が定着しつつある現状では政界再編の可能性は低いと見るのが妥当でしょう。

与野党の議席差が僅差なら、現在参議院に

四議席を有する国民新党との連立を目指す動きも具体化しそうです。過半数割れを解消できないと、個々の法案ごとに野党の意見を入れながら成立を目指すしかありません。法案をめぐる政党間協議が恒常化するでしょう。与党の衆議院の圧倒的多数は事実上封じられることになるかも知れません。

いずれにしても、与党が過半数を確保するかしないか、けわしい選挙になりそうな情勢です。

### 政策の争点は

今回の参議院選挙の争点は何でしょうか。与野党の過半数確保をめぐる攻防ばかりに心が集まって、政策上の争点があやふやになってしまふことを心配します。三年前の参議院選挙では年金問題が最大の争点になりました。今回も年金記録の問題が選挙結果に影響を与えることになるでしょう。ただ、年金の記録問題だけが選挙の争点というのは賛成しかねます。経済格差や東京と地方の格差、高齢化社会の福祉のあり方、教育改革、憲法改正問題、政治とカネの問題など数多くの重要な争点があります。年金記録問題の前にこうした争点がかすんでしまふのは避けたいものです。

### 参議院のあり方

ところで二院制の中で参議院がどのような役割を果たしているのか明確でないという批

判が絶えません。参議院無用論を主張する人もいます。特に平成一七年の郵政民営化法案では、参議院は一旦否決したのに郵政解散の結果を見て最終的に可決しました。衆議院選挙を境に郵政法案反対から賛成に態度を変えた参議院議員がいたことになりました。これを信念の欠如と見るか国民世論を尊重する投票行動と見るか、さまざまな見方ができるでしょう。

また衆議院に議席全体の三分の二を超える巨大与党が誕生しました。前にもふれたように三分の二の多数があれば衆議院は参議院が否決した法案でも成立させることが可能なのです。こうした一連の結果は参議院のあり方に一石を投じたことは確かでしょう。

これまで参議院は、法案成立の死命を制することで存在意義を示してきたように思いますが、けれどもそうした参議院のあり方には限界のあることが明らかになったともいえます。参議院が第二衆議院の道を歩むのではなく、理性の府、再考の府としての第二院の道を歩むにはどうしたらよいか、参議院のあり方を見直す好機を迎えているのではないのでしょうか。

与党が過半数を取るか、自民が五人当選するかといった数をめぐる攻防が大きな意味を持つていることは確かです。興味もありません。しかし、そうした陣取り合戦もさることながら、参議院のあり方、二院制のあり方といった普段あまり関心を払わない問題にも、この機会に有権者の目が向いて欲しいと思います。

# 投票しなければ何も変わらない 変えるのは私たち



## プロフィール しまざき わかこ

平成元年に「弱っちゃんだ」で歌手デビュー。現在、女優業やバラエティ番組などで活躍。「オールスター感謝祭」での島田紳助さんとの物おじしない司会には定評がある。現在TBS系「ピンポン!」、CX系「志村けんのだいじょうぶだぁ2」などにレギュラー出演中。

## タレント 島崎和歌子

芸能生活二〇年、幅広い分野で活躍されています…。

私は一六歳のときにスカウトされ、平成元年に歌手としてデビューしました。上京したての頃は、コンビニモファミリーレストランも二四時間あいていて、人の多さやビルの高さにはびつくりしました。でも夢や希望がいっぱいで怖いものなしでしたね。

あれから二〇年、いつのまにかベテランと呼ばれるキャリアを重ねてきました。でも、気持ちは新人のままです。この年代は若い方と先輩とのちょうど間の世代、人の意見を聞いてスポンジのようにいろいろなことを吸収しなければいけないと思っています。

最近、バラエティ番組や情報番組の司会など幅広く仕事をさせていだいています。ありがたいことです。私は好奇心が旺盛ですから、今の仕事は合っているのかもしれない。政治の番組は、加藤紘一衆議院議員に声をかけていただき、「朝日ニュースター」(スカ

パー)で一年間一緒に過ごさせていただきました。靖国問題や年金など最初はチンプンカンプンでも知らなくてはいけない問題ですから勉強しましたが、今でも分からないことだらけです。番組ではいろいろな方にお会いでき、とても勉強になりました。思い切った質問をしたこともありましたが、カットされませんでした。タレントだから許されたことなんですよ。ね。

このころは、政治ってそんな難しいことではないんだ、身近なものなんだと思うようになってきました。だって、主婦も、スーパーに行けば、野菜が高いとか、中国産は安いけど安全かしら、なんて思いますよね。それが政治の一端だと思っんです。

高知県観光特使をされています、故郷への思いを。

帰省すると大型スーパーが撤退していたり、商店街も更地や空き店舗が目立っています。故郷が元気がないのはとても寂しいこと。大都市と地方の格差が広がっているような気がします。でも、高知には素晴らしいところがいっぱいあります。それらを紹介することで、故郷が少しでも元気になってほしいという気持ちから、観光特使を引き受けています。

新聞はよく読まれるのですか。

新聞は毎日読みます、それも一面から。これも親の影響ですね。デビューした頃、「オヤジ・オバサンくさい」と同世代の仲間に笑

女優業やバラエティ番組などで活躍する島崎和歌子さん。政治や選挙についての関心も高く、政治番組を担当されたこともあります。平成一九年四月五日付けの毎日新聞夕刊に掲載された「都知事選に望む」での島崎さんの発言は、前向きで強いものでした。

今回は島崎さんに、参議院選挙への思いや考えなどについて、「有権者の代表」としてお話しをお聞きしました。

われしました。何でだろうと思いましたが…。今は情報番組などをやっていきますから、新聞などの情報は不可欠です。「総理の一日」なんて、とてもおもしろいですよ。

どなたかが言っていました。知識や情報を得るのに新聞が一番、コンパクトでしかも安いと。そのとおりだと思いますね。

### 初めて投票されたときの感想を。

顔が知られていましたから、投票所に行くには少し緊張しました。大人になったなと思うのと同時に、大人って大変だなとも思いました。政治に知らんぷりできないし、重い一票を投じなくてはなりませんから。投票を終えてからファンの方に「誰に入れたの」と聞かれたときは困りましたね。

### 投票所に行かれて感じることは。

小さい頃から家族総出で投票所に行くのが普通でした。そう、祖母も一緒でした。「近所の人も来ており、地域の交流の場でした。こんな経験は、子どもにとってとても良いことだと思っんです。選挙が身近になりますから。そのお陰か、私は投票所に行くことに何の抵抗もなく、今まで仕事でどうしても都合がつかないとき以外は、棄権したことはありません。私はまだ独身ですが、子どもを持つことになればきっと同じことをするだろうと思えますね。

小さい頃のイメージがあるせいか、現在の住所地の投票所（小学校）に行くとか暗い

感じがしますが、仕方がないのでしょいか。でも、投票所にいる方々が難しい顔をされているのが気になります。あいさつとか笑顔があるとほっとしますよね。最近は立会人の方に若い方が増えているようですが、とてもよいことだと思います。

### 政治や選挙への関心が一般に低いといわれていますが。

大きな駅でよく政党や政治家の街頭演説をやっていますが、通行人はみんな通り過ぎていくだけ。一分でもいいから足を止めて聞いてほしい、そこから政治への関心が始まると思うのです。私はできるだけ足を止めて聞くようにしているんですよ。

投票を面倒くさがる人も多いのですが、そういう人に限って政治や政治家への悪口が多い。文句を言うなら投票してからにして、なんて思いますね。

若者が選挙に興味を持たないのは、誰が政治家になっても一緒、自分が投票しても変わらないの思いからでしょう。でも、投票しなければ何も変わらない、変えるのは私たち。無関心が一番怖いんです。

### 参議院選挙が身近です。

候補者にはきちんと勉強してほしいですね。それから、マナーの良い人であってほしい。携帯を電車の中でかけたなり、飛行機に乗ってサービスを受けても「ありがとう」と言える人が少ないなど、公共マナーがなくなっ

ています。何か悲しいですね。ですから、政治家には、庶民の手本となるようマナーを良くしていただきたい。庶民とかけ離れた生活感覚も困りますね。

それから憲法改正の問題、特に九条。よいことが書かれていると思うのですが、制定以来六〇年も経って世界情勢や時代が大きく変わってきています。それらを考えるととても難しいのですが、みんなで考えなくてはいいし、無関心ではいられません。

渋谷を歩いていると、深夜に子どもたちが道ばたに座り込んでいる。ドラッグに手をだしている子もいると聞きます。この子たちが大人になったら日本はどうなるのか心配です。教育には力を注いでほしいですね。

あとは、フリーターやアルバイトで生活をしている若い人が多いのが気がかりです。この人たちは、自分が生活するのにいっぱい、適齢期がきても結婚できない。そして、私のように未婚の女性も多い。少子化も進みますよね。そんな、悪循環を断ち切る政策を期待します。こんなことを考えて投票したいですね。

### 明るい選挙推進運動一〇万人のボランティアにエールを。

選挙啓発の活動にそんな多くの方々ボランティア活動をされていることは知りませんでした。若い人も多いのですか？頭がさがります。ぜひ無理をせず、続けていつていただきたいと思えます。

# 明るい参議院議員選挙 推進全国大会報告



明るい選挙推進協会は、平成19年6月12日、東京渋谷区の津田ホールで、明るい参議院議員選挙推進全国大会を開催し、全国から400人を超す明推協委員が参加しました。

参議院選挙に向けて、菅総務大臣の「はげましの言葉」をいただいたほか、「日本政治の課題と参議院」をテーマとする講演、県明推協や若者啓発グループ、独自に投票率向上運動を進める日本青年会議所の意見発表がありました。最後に、参院選が明るく行われることを期して決議を採択し、盛会のうちに大会の幕が閉じられました。以下、その概要をレポートします。

## はげましの言葉

総務大臣 菅義偉

本日ここに、「明るい参議院議員選挙推進全国大会」が開催されるに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様には、日頃から全国の様々な地域において、国民の政治意識の向上、明るい選挙の推進等の活動に御尽力をいただいているところであり、厚く御礼申し上げます。

近く執行される参議院議員通常選挙は、二院制の下、良識の府と呼ばれる参議院を構成する国民の代表者を選出する重要な選挙であります。主権者である国民一人ひとりがその意義を十分認識され、積極的に投票に参加されるよう切に希望するものです。

しかしながら、各種の選挙における投票率の低下傾向が依然として続いている状況は、誠に残念であり憂慮すべきことと考えております。

投票率は、候補者、選挙の争点、投票日の天候など、様々な要因が影響するものですが、政党や候補者における活発な議論を期待するとともに、積極的な選挙啓発も必要と考えております。

特に、今回の参議院議員通常選挙は、選挙区選挙における在外選挙制度や国外における不在者投票制度の創設等の公職選挙法の一部改正が、初めて適用される国政選挙であります。

総務省としては、あらゆる機会を通じて、選挙制度や選挙期日の周知、投票参加の呼びかけを展開する等、積極的に啓発活動を行ってまいります。それぞれの地域において御活躍の皆様方におかれましても、明るい選挙の推進になお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、お集まりいただきました皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念しまして、私のあいさつといたします。

平成十九年六月十二日

# 日本政治の課題と参議院

慶應義塾大学教授 小林良彰  
 (横浜市明るい選挙推進協議会会長)

## 今回の参議院選挙の意義

今回の参議院選挙、有権者は大きな三つの選択を迫られております。

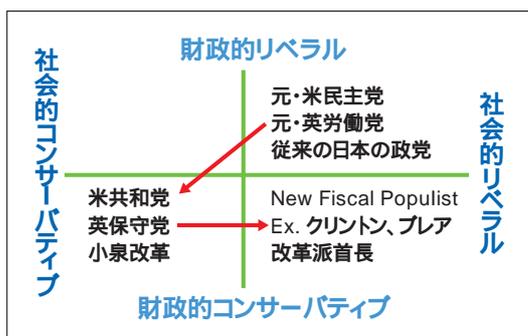
一つは、安倍総理の言う「戦後レジームからの脱却」への対応です。自民党内の圧倒的な支持を得て誕生した安倍政権は、日本国憲法下の政治・社会のあり方に対して否定的立場に立ち、憲法改正を政策の最重要課題に位置づけています。その第一歩として国民投票法や教育基本法を成立させてきました。国民投票法は三年後に施行されますが、憲法改正の発議には参議院でも三分の二以上の賛成が必要であり、衆議院と同じレベルでの判断の機会が与えられていま



す。その意味でも、今回の選挙は極めて重要な意義を持つていえます。

二つ目は、「大きな政府か、小さな政府か」「競争社会か平等社会」の選択です。

図は、この二つを両軸としたアメリカ、イギリス、日本の政党の位置関係とその変化を見えています。かつてのアメリカ民主党、イギリス労働党、そして日本の政党は、財政的にはリベラル（大きな政府）、社会的にもリベラル（平等）の政策をとってきました。しかし二度に及ぶオイルショックを経て、アメリカ共和党のレーガンやイギリス保守党のサッチャー、そして小泉改革に見られるように、小さな政府と自由競争の政策がとられました。クリントン政権やブレア政権も大きな政府に戻ることとはできず、社会的選択では、結果の平等ではなく、機会の平等を保障する政策をとりました。安倍政権は小泉改革で生じた格差の是正を掲げ、「再チャレンジ」など機会平等の政策をとろうとしているといえます。その政策への評価も今回の選挙でなされなければなりません。与党も野党も、この両軸での位置の違いを明確にすべきです。



ばなりません。与党も野党も、この両軸での位置の違いを明確にすべきです。

三つ目は財政再建の手法です。現在の日本が抱える債務残高は先進国の中で際立って高く、対GNP比では一六〇%を超えています。この借金をどうするのか、与野党ともその債務返済プランを示すべきだと考えます。一般に財政再建の手法としては、

西欧型解決法：増税（イギリスでは消費税を八%から一七・五%に引き上げ）、アジア型解決法：行政サービスの削減（韓国では地方交付税を削減したため、高齢者福祉対策が大幅に後退）、米国型解決法：増収（公共事業優先の政策から減税によるIT産業の育成などに転換）、南米・東欧型解決法：インフレ、の四つがありますが、日本では、増税や行政サービスの削減策をとるのは難しいので、増収策をとっているといえます。

**年金問題**  
 社会保険庁の杜撰な事務管理が問題になっている年金制度ですが、与党はこの問題への対策を明確にする必要があります。

年金制度は、事務手続以外にも大きな問題を抱えています。それは少子高齢化です。高齢者と生産年齢者の変化を見ると、一九七五〜一九九五年は、高齢者（六五歳以上）が九三六万人増えましたが、生産年齢者（二四〜六四歳）人口も一〇七四万人増加しました。しかし、二〇〇〇〜二〇二〇年は、高齢者が一

一〇〇万人増えるのに対し、生産年齢者は一〇〇〇万人以上減少することになります。年金制度は現在の生産者が高齢者を支えるシステムですから、これでは制度維持はできません。生産年齢者を増やすことが必要になりますから、少子化対策は極めて重大です。

対策としては、働く女性の子育て支援策の充実が不可欠で、そのためには、例えば、保育園は足りず、幼稚園は余っているのですから、幼保一元化などは、早期実現が図られるべきです。

### 参議院の意義と役割

世界的に見て、二院制をとっている国は少ないのですが（世界の三〇％）、これらの国において共通していることは、下院（日本の衆議院）は完全公選をとっていることです。このため、一票の格差が問題となります。上院（日本の参議院）の選出方法は国によって全く異なり、イギリスの貴族院の世襲制、ドイツの連邦参議院の任命制（各州政府代表）など公選でないところが多く、フランスは県会議員などによる間接選挙、アメリカは公選ですが、各州平等の州代表で一票の格差が問題になることはありません。その中でわが国の参議院のみが完全公選で、世界でもっとも民主的な誇るべき制度であるといえます。

参議院不要論もありますが、議院内閣制の国において一院制をとると、内閣と議会の多数派はつねに一体で、立法府に対する内閣の

力が大きくなりすぎる恐れがあります。第二院は、行政府による政策形成をダブルチェックする、衆院が持つダイナミズムを緩和する、第一院とは異なる論理で構成し、多様な意見を反映させる、任期を長くすることによって良識の府にふさわしい議員を選出し、各党における議論を深め、時にはリードするといった役割を担っています。郵政民営化法の否決など、節目節目で衆議院のカーボンコピーではない選択をしてきており、その存在意義を果たしてきているといえます。

\*

以上述べてきたように、今回の参議院選挙では、戦後初めてともいえるべき極めて重大な選択がなされようとしています。その選択は、少しでも大きな民意でなされなければなりません。そのために、ぜひ皆様のご努力により、高い投票率で選挙が行われますように、私も横浜でがんばりたいと思います。

## 決議

わが国は内外にわたって多くの課題を抱えており、その解決に向けて政治が果たすべき役割は、極めて大きい。従って、近々行われる第二十一回参議院議員通常選挙の意義はまことに重大である。

今年十二年に一度の「亥年選挙」の年である。亥年の参議院選挙の投票率は、毎回憂うべき状況にあり、特に十二年前の参議院選挙は五割を割り込む過去最低の投票率であった。一方、選挙違反は年々減少傾向にあるものの未だ後を絶たないなど、看過できない状況にある。

ここに本大会は、来るべき選挙が有権者の総参加のもと公明且つ適正に行われることを期して、次のことを決議する。

- 一 政党・候補者等に対し、選挙のルールを守った、きれいな選挙を行うこと、また、マニフェストなどを通じて選挙の争点を明確にし、政策本位の選挙を行うことを要望する。
- 二 有権者に対し、この度の選挙が国の政治の行方を決める重大な意義を持つものであることを十分に認識して、全員が投票に参加するよう、とりわけ若年層に対しては、一票の大切さを訴え、棄権することのないよう呼びかける。
- 三 マニフェストを読むなど政党・候補者等の政策を見極め、候補者の人柄、識見を吟味して、自らの自由な意思によって自覚ある投票をするよう呼びかける。
- 四 今回の選挙から選挙区選挙も対象となった在外投票のほか、期日前投票、郵便等投票、洋上投票等各種の投票方法の更なる周知を行う。

平成十九年六月十二日

明るい参議院議員選挙推進全国大会

意見発表

「なにかひとつ、取り組んでみたい!」  
 「ともかく行動を起こそう!」

福井県明るい選挙推進協議会会長 中村保之

低投票率と危機感

選挙のたびに投票率が低下して、毎回「最低記録」を塗り替えています。なかでも地方選挙の低下には憂慮しており、民主主義の崩壊という危機感を覚えます。こうなると、いつしか「最低投票率」の設定が必要になるかもしれません。あるラインに達するまでは何回でも選挙を繰り返す。ムダのようでも、それだけ選挙は厳しいものだと思わせる目的です。また、外国の例もあることから、棄権者へのペナルティも検討されて然るべきです。

福井県の常時啓発活動

中・高校生対象の「明るい選挙出前塾」は今年で四年目に入りました。また「引く手あまた」とはいきませんが、未来の有権者を育てるということと、選挙に行かない大人への批判でもあります。

平成一七年七月、大学生や社会人の若者が立ち上がったことには、大きな期待を持っています。「福井県明るい選挙推進青年活動隊=セプト(Clear/Clean) Election Promotion Team)」と言いますが、勉強会、啓発事業の企画立案、街頭啓発、大学祭でのパネル展、「明るい選挙推進県民のつどい」でのアトラ

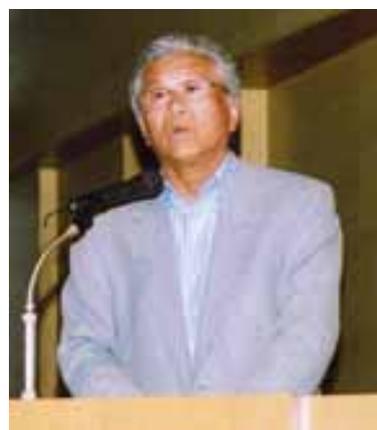
クシヨン、各種研修会への参加、テレビやラジオの出演など、若者の視点ですばらしい行動力を発揮しています。

選挙啓発ソング「正義のヒーロー」ができました。平成一七年度に歌詞を、一八年度に作曲を一般募集したのですが、若者に親んでもらえることを第一の条件としました。同時に一般募集そのものによる選挙への関心の高まりをも狙いとしました。作詞は二八点、作曲は六一点の応募があり、春の統一地方選挙では県内のショッピングセンターや商店街で流したり、巡回広報に活用しました。

また、統一地方選挙の臨時啓発事業として、地元の福井県立大学出身のペア歌手「ナナ・イロ」をイメージキャラクターに起用して、チラシのモデルや明るい選挙キャンペーンなど様々な機会に登場してもらいました。

参議院議員選挙に向けての私の提案

県内の各投票所に必ず一人は新成人、青年推進員、セプトメンバーなどの若者を参加させてほしいと市町選管へお願いしようと考えています。これまでも、県選管からお願ひしていますが、明るい選挙推進協議会としても、市町の明推協議会と連携しながら組織的な要



請活動を強めていきたいと思ひます。五月一六日には

「明るい選挙青年推進員研修会」を開催し、その際、若者がつくる選挙CMの「ワークシヨップ」を行いました。その表現力やキャッチコピーなどには、われわれには気づかない若者らしい感性が見られました。若者に出番を与え、彼らのパワーと責任感を引き出していきたいと思ひます。

何かに取り組む「行動」を!

ひとつ提案があります。明推協議会が主催して候補者の「公開討論会」や「立会い演説会」ができないものでしょうか。ただし、これには公職選挙法の壁があります。同法一六四条の三で「選挙運動のためにする演説会は、公職選挙法の規定により行う個人演説会、政党演説会、政党等演説会以外は、どのような名義をもって開催できない」とされているからです。でも棄権者の中に、「顔も知らない候補者」や「顔を見る機会のない選挙」には行きたくないという声があります。選挙離れの防止のためにも、議論の場を再生するためにも、手法を考え、法律を見直しながら時の流れを先取りしていくのも、明推協議会の企画開発になると思ひ、こだわっているのです。関係各位のご検討を期待するものです。

# 広島市明るい選挙ユースボランティア チームGO



西川 健作 國本 文平

ツチエの試合会場や広島球場など若者が多く集まる場所へ出かけ、試合前に啓発グッズの配布等を行いました。

三月に行われたビッグイベント「ヤングフエスタ」では、ソーランチームの皆さんと一緒にステージを盛り上げながら、投票へ行こうと呼びかけました。

## ワークシヨップ

市明推協の大平会長と選挙に関するワークシヨップを開き、「なぜ若者は投票に行かないのか」「どうしたら投票に行くようになるか」を話し合いました。投票に行かない理由としては、第一に「無関心」が挙げられました。これには「政治に興味が無い」「候補者の事をよく知らない」「政策がわからない」といったものがありました。二つには、「選挙に関する知識がない」ということが挙げられました。これには「投票所がわからない」「投票のやり方がわからない」といったものがありました。

これをもとに「どうしたら投票に行くようになるか」を考えました。選挙に関心を持ってもらうためには、「どんな候補者なのかを

わかりやすくする」「公約をわかりやすくする」といった意見が出され、また、投票方法に関しては、「投票に行けば税金が戻るようにする」「投票を義務化する」といった意見のほか、「投票所でお祭りなど楽しいことをあわせてやる」「投票所が小学校なので同窓会を開く」等のアイデアが出されました。

## 投票率を上げる様々な工夫

このワークシヨップで得た考えをヒントに、新たな啓発事業を企画し、投票日前日に行われたイベントに参加しました。市のキャラクターのぬいぐるみを候補者とし、実際の投票箱と本物に近い投票用紙で模擬投票を行い、選挙体験してもらおうというもの。

これらの活動の効果があつたのか、今年の県議会議員選挙の投票率は四年前と比べて、二〇代が二二%から一九%へ、三〇代は三一%から四〇%へ上がりました。

今回の参院選に向けては、啓発イベントの企画から運営までチームGO がやってしまっ、選挙啓発の番組を作っ、インターネットで流す、引き続きキャラクターを使った模擬投票を行う、選挙に行く人と行かない人の討論会を行う、イベント会場で選挙クイズを行う、人気アーティストを呼ぶ、ことを企画しています。

若者に投票の大事さとやり方をわかりやすく伝える手づくりイベントを行いたいと思っています。

## チームの誕生

若者の低投票率を少しでも打開するため、広島市選管と市明推協は、同世代の若者が選挙啓発事業の企画・運営を行うことで、若者の意識の向上を図れないかと考え、明るい選挙ユースボランティアを募集しました。これに応募したメンバーで本年二月に結成されたのが、広島市明るい選挙ユースボランティア「チームGO」です。

「チームGO」というグループ名も、メンバーが話し合って決めました。投票へGO！選挙へGO！輝きにGO！という三つの意味があります。現在、一五人で活動しています。春の統一地方選挙では、サッカーのサンフレ

意見発表

## （社）日本青年会議所「日本の力」 実践グループ 国民主権確立委員会

委員長 堀富則 副委員長 森上恒

### JCのこれまでの取り組み

日本青年会議所（JC）は、二〇歳～四〇歳の企業経営者を中心に組織され、現在、四万人を越すメンバーが、明るい豊かな社会を築くため、全国で活動しています。その一環として、平成一五年からマニフェスト運動に取り組んできました。また、これと並行して「マニフェスト」を基に選択するという文化を普及させるために、リンカーンフォーラム、LM（ローカルマニフェスト）推進ネットワーク等と協働して、公開討論会の開催支援活動に取り組んできました。一六年度の開催支援は一六カ所、一七年度は八四カ所、そして一八年度のエントリー数は一三五カ所になっています。

### 新たな活動の必要性

平成一五年には国政でのマニフェストが可能になり、平成一九年には首長選挙でのマニフェストが認められ、「マニフェスト」という言葉はすでに定着してきました。また、マニフェストを基本にした公開討論会の開催によって、「有権者に選択の機会を」「お願いから約束へ」という流れも醸成されつつあり

ます。

しかし、公開討論会に参加する人は世代的に偏る傾向にあり、もともと政治に興味・関心がある世代が主となっています。投票率は年々減少の傾向にあります。特に若い世代ほどその傾向が顕著です。投票に行かないこの世代にこそ、政治に関心を持ってもらわなければなりません。

### 5%アップキャンペーン

JCでは低い投票率を何とかしようと、5%アップキャンペーンを企画しました。その構成は、一つにはこれまでも取り組んできた「マニフェスト型公開討論会」の実践。様々なメディアとタイアップして開催することにより、より多くの人々の目に触れ、より多くの有権者に貢献できるようにしてきましたので、これを活かしていきたいと思えます。

二つ目は「みかん箱作戦」で、これは、みかん箱に乗り、のぼりを立てて、「選挙に行きましょう！」というJCの主張を街頭で訴えかけるものです。二月から全国行脚を行い、二〇カ所ほどで実施いたしました。

三つには、「一票一声運動」。これは、自分

の県や市の前回の投票率などを調べ、周りの人々（家族や従業員）に対し、このままでいいのかと訴えていくものです。JC四万人の一声が周りに拡がっていったら、地道ですが効果的な声掛け運動になるのではないかと期待しています。

四つ目は、「メディアとのタイアップ」です。どんなに良い活動を行っても、多くの人たちに知ってもらわなければ意味がありません。多くのメディアと手を組んでいきたいと思えます。

（最後に、七月二十一日に横浜の桜木町駅前で見かん箱作戦を行う予定の皆さんに、そのパフォーマンスをしていただきました）



みかん箱作戦のパフォーマンス

## 第二十二回参議院議員通常選挙における

# 啓発事業

「きつと未来とつながっている。」

### 総務省選挙部管理課

#### 投票率の現状について

近年、投票率は低投票率傾向にあり、前回、平成一六年七月十一日執行の第二〇回参議院議員通常選挙（選挙区）における年齢段階別の投票率の状況を見ると、二〇代前半の投票率が三一・五一％、二〇代後半が三六・八二％、三〇代前半が四三・九七％と特に低く、全体の投票率五六・五七％を大きく引き下げている状況にあります。

#### 今回の選挙啓発の狙いについて

今回の選挙啓発においては、選挙期日の周知と投票参加の呼びかけを行うため、各種広報媒体を効果的に活用した啓発計画を策定し、関係機関等と緊密な連携をとり、投票率の向上に努めることとしています。

啓発の表現案では、「投票すること＝社会や将来を考えるきっかけ」であるということを中心に、『きつと未来とつながっている。』というキャッチコピーでメッセージを発信することとしています。

テレビCMはストーリー仕立てとし、ごく普通の若者が選挙に行ったことで、自分自身が少し変わったと感じる体験を擬似的に表現しました。また、広報効果をさらに高めるため、好感度が高く、若者の等身大の目線で主人公を演じて

もらうのにふさわしいキャラクターとして、映画やドラマで活躍中の俳優の佐藤隆太さんと、モデル・女優の香里奈さんを起用することとしました。

#### 啓発事業全体計画について

総務省における啓発内容は、「第二十二回参議院議員通常選挙啓発事業全体計画」のとおりです。総務省、内閣府、外務省、（財）明るい選挙推進協会、地方公共団体等が実施内容、実施時期等について連携を図ること、より効果的に事業を展開しています。

また、総務省、（財）明るい選挙推進協会のほか、希望する地方公共団体においても、総務省作成の素材を活用していただくことで、各媒体における表現の統一を図り、一層効果的な啓発が実施できると期待しています。

啓発事業全体計画において実施する主な媒体については、以下のとおりです。

#### 新聞広告

（財）明るい選挙推進協会と連携を図り、中央五紙、ブロック三紙における朝刊テレビ面カラー広告等を実施する予定です。

#### テレビスポット

一五秒・三〇秒スポットを作成し、全国一七局において、平日朝、夜および土日の視聴率の高い時間帯を中心に投稿するものです。また、投票日前日および当日に集中投下し、投票日前の棄権者層に訴えかけることとしています。

#### 交通広告

中吊り広告は、JR、私鉄、地下鉄の全国主要ハ一路線で展開することとしています。

#### インターネット広告

「参院選特設ホームページ」の開設をはじめ、「バー広告」「動画広告」の配信などインターネットを重点的に活用するものです。これは、近年の目覚ましいインターネットの普及、接続環境の向上により、より多くの情報提供が可能となっていること、また、インターネットが若年層の生活行動に欠かせない媒体となってきたことから、効果的な啓発となればと期待しているものです。

#### ムービスポット

（財）明るい選挙推進協会と連携を図り、観客動員数が見込める人気映画の公開にあわせて、全国主要都市映画館で展開することとしています。

#### 制度の周知徹底について

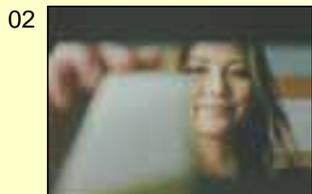
選挙区選挙についても在外投票の対象となつたことや国外における不在者投票制度の創設等の公職選挙法の一部改正が、初めて適用される国政選挙であるため、この改正内容の周知に努めるとともに、期日前投票をはじめ、非拘束名簿式比例代表選挙における投票方法についても引き続き周知に努めていくこととしております。

#### 最後に

今回の選挙は、少子高齢化が進み人口減少社会を迎える等、内外ともに課題が山積する中、今後の国政を託す代表を選ぶ大変重要な選挙です。

キャッチコピー『きつと未来とつながっている。』にあるように、「選挙に参加することは自分と無関係ではない」ということを一人でも多くの有権者に理解していただき、積極的に投票に参加されることを切に願っています。

テレビCM「考える時間篇」15秒



選挙に行った。

今までより少し



将来のことを

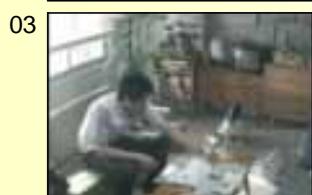
考える時間が

長くなった。

7月29日は、

参議院選挙の  
投票日です。

テレビCM「記事の中の自分篇」15秒



選挙に行った。

世の中の



ニュースが

自分と関係あるって

思えてきた...

7月29日は、

参議院選挙の  
投票日です。





**ネットカフェにウェットティッシュを**  
 青森県明推協と同県選管は、若者の利用が多いインターネットカフェやマンガ喫茶に着目し、県内九店舗に、「青森県の未来に、花を咲かせよう。」と記したウェットティッシュ四五〇〇個を置いてもらいました。ティッシュは好評で、一個も残らなかつたそうです。



「伊達めいすいくん」登場  
 「なまはげめいすいくん」(秋田



紙芝居の上演

絵は縦横一m以上の大きな赤銅赤鬼金之助などの作品と「伊達めいすい

くん」を作っている県がありますが、宮城県では、今年、「伊達めいすいくん」が誕生し、統一地方選挙での投票参加を呼びかけました。江戸時代の初代仙台藩主である独眼流伊達政宗公をモチーフに、有名な三日月の兜をかぶった、可愛いくもりらしい「めいすいくん」です。

**紙芝居キャラバン隊**  
 その宮城県明推協と同県選管は、三月三十一日(土)、四月一日(日)、七日(土)、シヨッピングセンターなど一六カ所を巡って選挙の大切さを訴える紙芝居を上演しました。



県、「山伏めいすいくん」(山形県)など、選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」を

君の大切な選挙」の二本立てです。店内の休憩スペースや店頭などで行われ、子供連れの買い物客が集まりました。

**街頭イベントでアンケート**  
 高知県明推協は、県議選での投票参加に結び付けようと、県議会、議員に期待すること」をテーマに、高知市の繁華街で県明推協委員六人が街頭アンケートを実施しました。高知県選管が設置した啓発ブースの一角に一四の選択肢を書いたボードを張り、買い物客などに自分が期待する選択肢にシールを貼ってもらうものです。

選択肢は、「夢のある県の将来像を示して」、「教育の充実を図って」、「議会、議員の役割や活動を公開して」、「県民の意見を聞く場を作って」、「雇用の拡大を図って」など、すべて明推協の委員が考えました。一五一一の回答(複数回答)を集めました。

回答の中でもっとも票が多かつたのは「議員にかかるお金を考えて欲しい」で、次いで「高齢者も障害者も安心できる社会が欲しい」でした。

アンケート結果は、県明推協会長らが県議会議長に面談して手渡

しました。

**生鮮食品のトレイに啓発シール**  
 宮城県選管は、県内のスーパーマーケット九店舗で、肉や魚などの生鮮食品のパックに、「！お忘れなくその一票かがやく未来の第一歩！」と記したシール(横四cm縦二cm)九〇〇枚を貼ってもらい、投票参加を呼びかけました。自然と購入者の目に入るよう、値段や品質表示のシールの傍に貼ってもらいました。

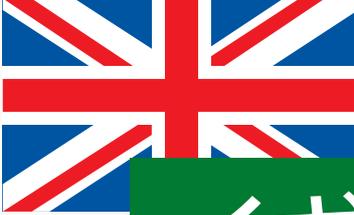
**公開討論会主催者に感謝状**  
 各地の青年会議所が主催する立候補予定者の公開討論会が増えています。千葉県佐倉市でも、市長選挙(四月八日投票)の立候補予定者による公開討論会が開催され(三月二十八日)、市民四五〇人が参加しました。

佐倉市明推協は、五月二三日、この公開討論会的主催者である佐倉青年会議所に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。



お寿司にシールを貼る店員さん

と購入者の目に入るよう、値段や品質表示のシールの傍に貼ってもらいました。



# イギリスの シティズンシップ教育

第2回

西武文理大学教授  
新井 浅浩

プロフィール あらいあさひろ

昭和35年生まれ。横浜国立大学教育学部卒、カリフォルニア大学教育学大学院修士課程卒。現在は西武文理大学サービス経営学部教授。専門は比較教育学、人格・情意教育論。

## 初等学校のシティズンシップ教育

今回は、初等学校におけるシティズンシップ教育の授業について紹介します。

前回お話ししましたように、初等学校でのシティズンシップの授業は、PSHE(子どもたちの人格や社会性の発達そして健康的な生活を目指すための教育プログラム)と連動したかたちで行われます。

シティズンシップとPSHEの授業によって目指されるのは、次の四つについての知識・スキル・理解を子どもたちが獲得することにあります。

- ・ 自信と責任感を育て、自分の能力を最大限に発揮すること。
- ・ 能動的な市民としての役割を果たすための準備をすること。
- ・ 健康的でより安全なライフスタイルをつくり上げること。
- ・ 他者とよい関係をつくり上げ、他者との違いを尊重すること。

これらを目指して、各教科の中で横断的に取り組んだり、そのための特設の時間を毎週一回設けたり、学校行事などを開催したりします。特設の時間(わが国でいえば、道德の時間のようなものでし

よう)では、「ルール」「選択」「感情」などをテーマとしてすめられています。

## サークルタイム

ここで初等学校における授業で典型的に行われる「サークルタイム」という実践についてとりあげてみましょう。サークルタイムとは、学級の中で肯定的な関係づくりや道德的発達、自己肯定の育成などを目指した活動であり、輪になつて実施することから、このような名前と呼ばれています。一種の集団ゲームといつてよいでしょう。サークルタイムは、PSHEやシティズンシップの授業だけでなく、話すことや聴くことの学習ともいえるので、英語の授業の一環として行われることもあります。

それでは、私が実際に見学したロンドン郊外の初等学校二年生(わが国でいえば小学校三年生)の授業の例を紹介します。

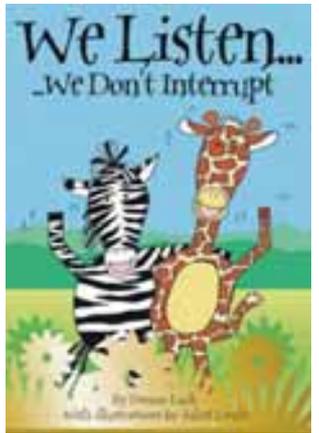
まず、教室の一角に輪になつてすわります。ウォーミングアップとして「フルーツ・サラダ」という簡単なゲームをします。全員が「キウイ」「バナナ」「リンゴ」「梨」



サークルタイムの授業風景  
サリー県のパーフォード国教会  
初等学校にて

の四つに分けられ、先生が選んだ果物に指定されている子どもだけが、そのつど席を移動するのです。わが国ではフルーツ・バスケットと呼ばれるもので、一種の椅子取りゲームです。子どもたちは、とても楽しそうに取り組んでいます。サークルタイムにおいて、このウォーミングアップはとても重要であるとされています。

次にサークルタイムのルールを全員で確認します。それはいくつかありますが、ここでは「他の人の発言をよく聴くこと」「スピー・ベアのぬいぐるみを持つているときに話すこと」「話している人の顔を見ること」「人が話している時には静かにすること」「他の人に対してふざけたことを言わないこと」が確認されていました。その後、先生が課題を出して、それに対して一人ずつ順番に答え



サークルタイム用のポスター「私たちはきちんと聴きます。私たちは邪魔をしません。」(ジェニー・モスレイのホームページより)

ていきますが、その時にも若干の工夫があります。まず発言するとき、ティ・ベアのぬいぐるみを受け取ってから発言しますが、発言したくない場合は、パスをする権利があります。これも重要です。しかもパスした子どもは、自分が望めば最後に発言するチャンスが与えられます。

最初の課題は、「今週、楽しんだことは何ですか?」というものでした。今週一週間の中で、楽しんでできた学習活動について、それぞれの子どもが一言ずつ発言していきました。

次は、先生がティ・ベアのぬいぐるみを抱えて、「ティは今、とてもイライラしています。それは何故でしょうか?」と質問を投げかけました。子どもたちは、テ

ディ・ベアの抱える悩みを当てようとします。子どもたちの発言の一つが正解とされました。その悩みは算数の問題がうまく解けないというものでしたが、それに対して子どもたちは、どうすればそれを解決できるか助言しました。

最後の課題は、「(今日または今週)私は〜ができるようになった」というフレーズを、順番に言っていくものです。

例えば、「私は物語をうまく読めるようになった」「私は筆記がうまくなった」など様々でした。この時、先生は一人ひとりの発言に対しては、良いとか悪いとかの評価をしません。この授業を観察したのは金曜日だったので、授業をされたグリーン先生から、今週は算数の勉強をはじめかなり負担の多い学習をしたのでこのような課題にしたこと、週の最後にこのような質問をすることに意味



自分たちがよくできたと思う子どもたちが、自分で貼ってあげるステッカー(ジェニー・モスレイのホームページより)

があること、などの説明を受けました。

質問に対して全員がひと通り答え終わる度に、当番に当たっている子ども二人が、よい発言だと思つた人、あるいは人の発言をよく聴いていた人を選んで、ステッカーをその子どもの胸に貼ってあげます。このときにも単に自分の友だちを選ぶということではなく、きちんと言語を評価した上で選ぶというルールが決まっています。

サークルタイムでは、様々なテーマについて取り扱いますが、いずれの活動も、他者の発言をよく聴いて、その上で一人ひとりが自分の考えを発言する能力の育成を目指しています。そのために、ゲームによる楽しい雰囲気と定められたルールによって、自分に対して自信が持てるようにすることや、発言しやすい雰囲気をつくること、相手を尊重することなどを保障しています。

### 求められる自分の意見を表明する能力の育成

ところで昨年わが国において、タウンミーティングにおける「やらせ質問」が発覚し、新聞紙上を

にぎわせました。そのことをめぐっては様々な問題があると思いますが、私が疑問に思つたのは、そうした場面において積極的に自分の意見を表明することができ人間を、これまでわが国ではきちんと育成してきたのだろうかということです。

イギリスの学校の実践を見ていてわかることは、社会において堂々と意見を表明することができるようになるために、時間をかけた地道な取り組みをしているということです。実際、このサークルタイムの授業では、子どもたちみんなが、最初からうまく自分の意見を表明できていくわけではありません。注意深い雰囲気づくりやルールなどを設定し、少しずつじっくりと練習していく中で、自分に対して肯定的な捉え方をし、自分の意見を言うことができるようになっていくことを目指しています。シティズンシップ教育においては自分の意見をきちんと表明するという能力をとて重視していますが、こうした実践から、その土台となるスキルを時間をかけて育成している様子がよくわかります。

# 行列のできる

第2回

## 講座のつくり方

### 「ターゲットの心に響くタイトルを」

NPO法人男女共同参画おおた理事 牟田静香

前回では「まずは企画ありきであること」、さらに「ターゲットを徹底的に絞ること」が重要だと記述しました。

目的をぶらさずに、ターゲットがより興味がもてる企画をたてることであれば、次に行うことは、ターゲットのココロに響くタイトルをつけることです。私は講座のタイトルは重要な広報手段だと捉えています。これまでいくつも「行列のできる講座」を作ってきましたが、企画の次に時間をかけているのがタイトル選びです。

### ゴールが見えるタイトル

もつともココロに響くタイトルは「ゴールが見えるタイトル」です。参加者にとって講座に参加する目的が明確で、メリットのあるタイトルが目を引きまします。この講座に参加す

ると何が得られるのかがはっきりわかるタイトルです。

例えば「エセナおおた」で大ヒットとなつた講座のタイトルは、「子育てママのためのお金がたまる家計術」です。対象者もゴールも明確です。この講座に参加すれば、ズバリ「お金がたまる」のですから。この講座は三〇人の定員に対して実際に一一五人もの申込みがありました。この講座はただの利殖の講座ではありません。この講座の最終目的は「再就職」です。その後に続く再就職のための講座に参加してもらつ誘い水講座なのです。お金をためるためには「使わない」「稼ぐ」かのどちらしかありません。節約するにしても限界がありますので、ライフプランを実現するための資金を生み出すために、今から再就職のための計画をたてざるをえな

### むたしづか

#### プロフィール

区の男女平等推進センター「エセナおおた」の活動を通し、不振だった同センターの主催講座に定員オーバー続出のヒット講座を連発するようになる。著書に『人が集まる！行列のできる！講座、イベントの作り方』（講談社+ 新書）。

い気持ちにさせます。そしてその後数カ月にわたつて続く再就職セミナーに参加を促していきます。

現在、育児休業制度等、女性が働き続ける環境は法律的には整つてきてはいるものの、実際は第一子出産を機に退職する女性は七割にのぼります。少子化の時代の日本社会にとつて、社会人経験も豊富で潜在能力も高い女性を企業が活用しないのは本当にもつたないと思つています。女性も働くことによつて将来に向けての選択の幅が広がりますし、なにより自己成長につながります。

### 若い人にはカタカナ

日頃から若者向けの雑誌の目次に注意し、ここからヒントを得ています。若い人向けの講座であればタイトルにカタカナを使うことも多いです。カタカナを使った例で言えば、「ココロとカラダの元気を引き出すボディワーク」というタイトルをつけたこともありますし、「サクサク」という言葉が若者の間ではやつているのであれば、働く女性向けの講座の誘い文句に「おシゴト帰りにサクサクおけいこ」とつけ、いずれも定員オーバーの申し込みがありました。ココロに響くタイトルであれば申込みも増えるという典型例です。

### いたるところで情報収集を！

企画やタイトルのヒントを収集するために

コンビニに通っている話は前回しましたが、そのほかに、つね日頃から行っていることがあります。電車に乗ればひたすら上を向いて中吊り広告をじつと見ていますし、時間があれば大きな書店に立ち寄ってベストセラーの本の目次を見に行きます。ターゲットが電車や喫茶店で雑談をしていると、どういふことを話題にしているのか聞き耳を立てます。そのとき話題にのぼったホームページを検索してそこに講座の宣伝を書き込んだところ、それを見て講座を申し込んだという人もいました。「盗み聞き」も貴重な情報源となることがあるのです。

インターネット上で社会的ネットワークを構築するSNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）にも入り、情報収集と発信をします。人気のテレビ番組も見ます。流行の歌の歌詞もチェックします。ありとあらゆるところにアンテナをはって企画とタイトルのヒントを探しています。つねに手帳を持ち歩き「これは！」と思う言葉を書きこんでいます。「これは！」と思うタイトル候補をいくつか考えたあとは、ターゲットにどのタイトルであれば参加したくなるのかということをしサーチします。自分がイチ押しするタイトルよりも、それ以外のタイトルに人気が集まることも多々ありますので、しっかりターゲットの声を聞き、リサーチしてからタイトルを決定すれば失敗しないでしょう。

## ターゲットへのリサーチを怠らないこと

平成一七年春、子育て中の女性を対象に四回連続講座を企画したことがあります。タイトルは「ココロを軽くする女性学講座」です。平成一五年以前は「女性学講座」というタイトルでは定員割れしていたため、タイトルに「女性学」という言葉は使わないようにしていたのですが、本当にこの言葉が禁句タイトルなのか確信がもてなかったのです。そこで「ココロを軽くする」という言葉をタイトルにプラスしました。もちろん若い人向けに「ココロ」はカタカナです。その結果、三〇人の定員に対し四五人の応募がありました。これまでは単なる「女性学講座」だったため中身がわかりにくくターゲットのココロを動かすだけのパワーがなかったのです。ターゲットの心に響く言葉で、受講後の自分が想像できるように、まさにゴールが見えるような言葉を加えることによって定員オーバーすることがよくわかりました。「女性学」という言葉が禁句なのではなく、ゴールが見えないタイトルだったことが定員割れの原因だったのです。



ごほうび講座秋チラシ

そしてその翌年の平成一八年春にも同様の講座を企画しました。職場の仲間は前年「ココロを軽くする女性学講座」で定員オーバーしたのだから、同じタイトルでいいのではなにかとの意見でしたが、私は毎年受講者は変わるのだから、前年と同じタイトルで果たしていいのだろうかという疑問がありました。そこで、いくつかタイトル案を考えてターゲットにリサーチすることにしました。一つめは前年と同じ「ココロを軽くする女性学講座」、二つめは「自分のことを好きになる講座」、三つめは「わたしへのごほうび講座」です。どれもゴールの見えるタイトルにしました。子育て真っ最中のターゲット三〇人に、講座の内容は告げずにタイトルだけを見せ、どのタイトルだったなら参加したいと思つかを直接一人ひとりに聞いてまわりました。その結果、一番人気は三つめの「わたしへのごほうび講座」でした。

前年に定員オーバーしたからといってそのままのタイトルをつけるのではなく、日々のリサーチが大切だということがよくわかりました。実際に「わたしへのごほうび講座」というタイトルをつけたところ、三〇人の定員に対し前年を大きく上回る六一人の応募がありました。

今回は子育て中の女性の講座を取り上げましたが、次回はその受講の動機、男性・シニア向けの講座についてお話しします。

# 絵本・リンカーン

《第2回》

議員活動

イラスト：東 芳純

# Abraham Lincoln

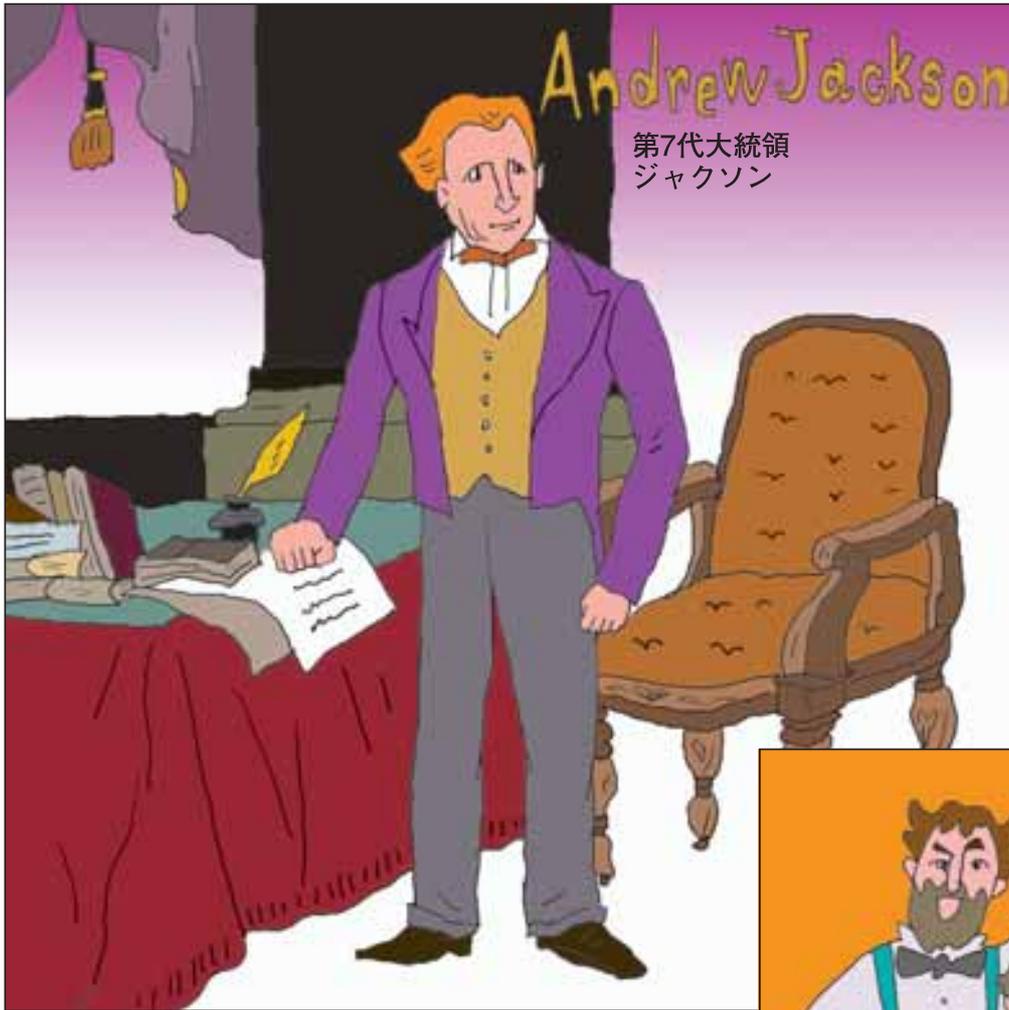


二三歳のときには  
ネイティブアメリカンとの戦争に  
志願兵として参加している。

リンカーンは二〇歳代前半、  
郵便局長、郡の測量技師代理として働いた。



新聞をよく読み、弁論会でも勉強した。  
次第に政治に関心を強め、  
二五歳（一八三四年）のときに推されて  
ホイッグ党員として州下院議員に当選した。  
イリノイ州では知事、  
議会とも民主党が優勢であった。



# Andrew Jackson

第7代大統領  
ジャクソン

当時のアメリカは、強力な大統領であったジャクソンを支持し、主に南部を基盤とする民主党と、議会の尊重を唱え、主に北部を基盤とするホイッグ党が有力な政党だった。この時代白人男子普通選挙が確立するなど、ジャクソニアン・デモクラシーと呼ばれた。



リンカーンは独学で法律を学び、二七歳のときに州の弁護士資格を得、二八歳で法律事務所を開いた。議員活動も続け、二九歳のときには党の州下院議長候補にも指名された。



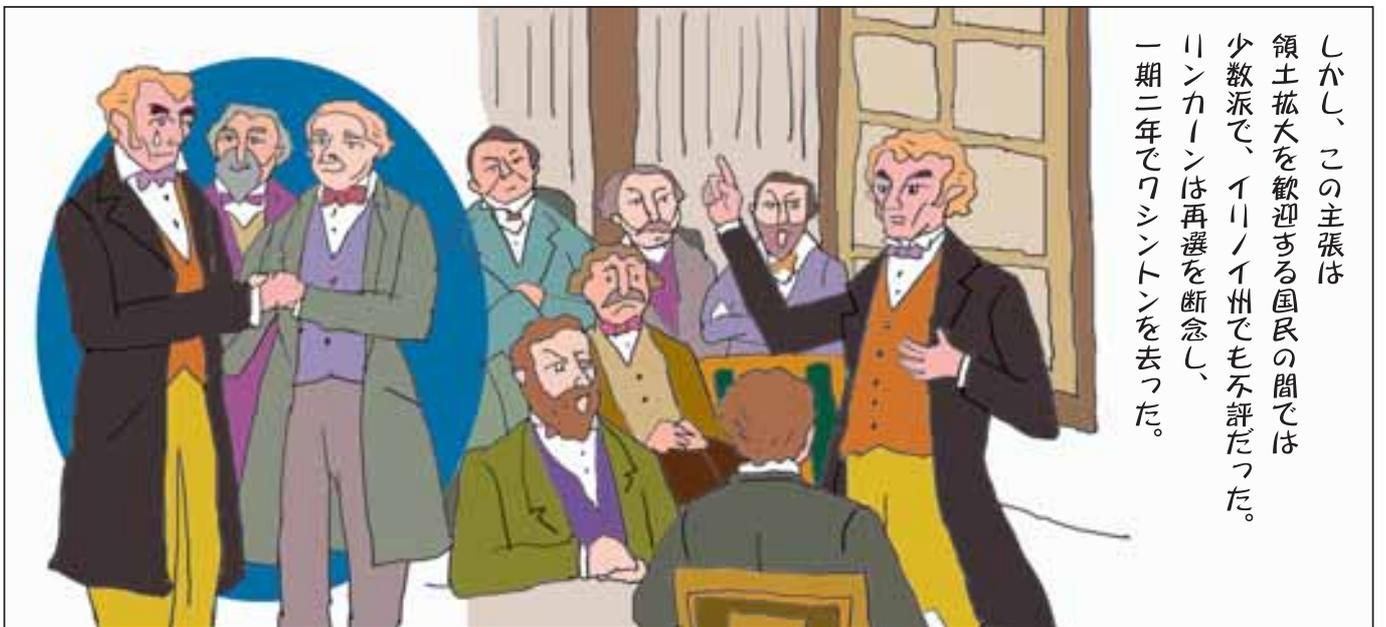
三三歳のときに、四期八年間務めた議員を辞めた。弁護士業や数カ所の裁判所を馬で回る巡回裁判の仕事に精を出した。ホイッグ党の大統領候補の選挙運動などにも取り組んだ。この時期に結婚し、四男に恵まれた。

1840年頃の  
連邦議事堂



三七歳（一八四六年）のとき、  
推されて連邦下院議員に当選した。  
テキサスの領有権を巡る  
メキシコとの戦争について、  
アメリカの主張の正当性に疑問を持ち、  
「大統領が国民を引きずりこんだ  
党派的戦争である」と、毅然として批判した。

しかし、この主張は  
領土拡大を歓迎する国民の間では  
少数派で、イリノイ州でも不評だった。  
リンカーンは再選を断念し、  
一期二年でワシントンを去った。



弁護士業に専念し、  
特に発展著しい鉄道会社との  
訴訟における有能さで  
評判になった。  
国家を二分する危機を抱えた  
アメリカ社会に、  
リンカーンが新しいリーダーとして  
登場する時期が近づいていた。



## 河瀬直美さんがグランプリ受賞

平成17年に協会が作成したインターネットムービー「主人公は君だ！」を撮られた河瀬直美監督の最新作品「殞(もがり)の森」が、5月に開催された世界三大映画祭のひとつ、カンヌ国際映画祭(第60回)で、グランプリを受賞されました。

河瀬監督には、「主人公は君だ！」の撮影の際、打ち合わせで何回もお会いし、協会にも足を運んでいただきました。心よりお祝いを申し上げます。

「主人公は君だ！」は、昨年、東京ネットムービーフェスティバル2006で監督賞を受賞しています。現在でも、協会のホームページ(<http://www.akaruisenkyo.or.jp>)でご覧いただけます。

## 藍綬褒章

明るい選挙推進運動、選挙関係事務に長年尽力されてこられた方々27人が、4月29日に春の藍綬褒章を授与され、5月16日に皇居で天皇陛下に拝謁しました。

氏名	主要経歴	氏名	主要経歴
芹 恭信	現 北海道えりも町選挙管理委員会委員長	上辻 善一	元 京都府宇治田原町選挙管理委員会委員長
鈴木 篤	現 青森県風間浦村選挙管理委員会委員長	堤 克子	現 大阪府門真市明るい選挙推進協議会会長
菊田 榮治	現 宮城県女川町明るい選挙推進協議会会長	森谷 正哉	現 兵庫県宝塚市明るい選挙推進協議会会長
加藤 忠久	現 秋田県大仙市明るい選挙推進協議会副会長	下西 千恵	現 鳥取県境港市明るい選挙推進協議会副会長
阿部 百合子	現 山形県寒河江市明るい選挙推進協議会会長	廣瀬 茂登子	現 広島市佐伯区明るい選挙推進協議会常任委員
吉田 勇二	現 福島県いわき市明るい選挙推進協議会小名浜支部長	野原 弘實	元 山口県岩国市明るい選挙推進協議会会長
横瀬 勝壽	元 栃木県栗野町選挙管理委員会委員長	中 昭	元 香川県庵治町明るい選挙推進協議会会長
秋山 キヨ子	元 埼玉県川越市明るい選挙推進協議会副会長	川原 黎治	元 福岡県明るい選挙推進協議会会長
尾川 千代子	元 東京都西東京市明るい選挙推進委員会会長	馬場 末子	現 佐賀県明るい選挙推進協議会委員
渡邊 秀子	現 神奈川県横須賀市明るい選挙推進協議会会長	中村 康利	現 熊本県嘉島町選挙管理委員会委員長
野林 勝彦	元 岐阜県上宝村選挙管理委員会委員長	中山 文哲	元 大分県本匠村選挙管理委員会委員長
黒川 惟善	現 浜松市春野支部明るい選挙推進協議会会長	境 庸子	現 宮崎県日南市明るい選挙推進協議会副会長
水野 幸一	現 明るい選挙名古屋市推進協議会副会長	神崎 俊夫	現 鹿児島県いちき串木野市選挙管理委員会委員長
坊野 善宏	現 滋賀県選挙管理委員会委員		

平成19年4月現在

## 編集後記

特集は、目前に迫った参議院選挙を取り上げました。このため、今号は、通常より約半月早い発行となりました。政治学者である兵庫県明るい選挙推進協議会の森協会長と政治評論家である当協会の中島理事に参議院の特色や参院選の意義についての寄稿をお願いし、市民の視点からのお話をタレントの島崎和歌子さんからいただきました。

また、全国から明推協委員の代表の皆さんが参加して行われた「明るい参議院議員選挙推進全国大会」での講演や意見発表などをまとめました。初めての試みとして、日本青年会議

所の方々から、彼らの投票率向上運動についてのお話をいただきましたが、同じような目的のもとに活動されている団体があることは、大きな励みになりました。なお、日本青年会議所の投票率向上運動「5% CAMPAIGN」の中の「みかん箱作戦」は、当協会が後援しています。

メイスイ列島フラッシュは、統一地方選挙で行われた各地の啓発活動を紹介しました。全国初の試みもあり、それぞれの地方紙などにも取り上げられています。

次号の発行は、9月30日の予定です。

編集・発行 財団法人 明るい選挙推進協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号 商船三井ビル4F ☎03(3560)6266・6267 FAX 03(3560)6268  
ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/> メールアドレス [akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp](mailto:akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp)

編集協力 株式会社 公職研

今までより少し、  
将来のことを考える時間が  
長くなった。

7/29  
日

きっと未来とつながっている。  
参議院議員 通常選挙

選挙に行った。  
自分と関係あるって思えてきた。

◎投票時間は、午前7時から午後8時までです。◎期日前投票は、7月13日(金)から7月28日(土)までできます。不在者投票、郵便等投票、在外投票などの制度もあります。◎比例代表選挙では「候補者名」または「政党名」を、選挙区選挙では「候補者名」を記載して投票してください。(詳しくは、最寄りの選挙管理委員会にお問い合わせください。) [www.2007senkyo.jp](http://www.2007senkyo.jp)

総務省・中央選挙管理会・(財)明るい選挙推進協会

期間限定のショートムービー・メイキングムービー配信中。詳しくは

配信は7月12日から